

平成29年度 第6回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（確定稿）

- 開催日時：平成30年3月13日（火）18時30分～20時30分
- 開催場所：田無総合福祉センター4階 第3会議室
- 出席委員：小野修平、富澤佳代子、阿壽子、渡辺裕一 <以上4名、敬称略、五十音順>
- 出席役職員：小平勝一、飯塚和幸、嶋田孝雄、長山清美

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(平成30年1～2月)
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告(平成30年1～2月)
- 資料 3：ボランティアコーディネート実績(平成30年1～2月)
- 資料 4：ボランティア活動者の懇談会（話し方講座）アンケート集計結果
- 資料 5：平成29年度西東京ボランティア・市民活動センター予定表（平成30年3～4月）
- 資料 6：平成29年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（未定稿）案
- 資料 7：平成30年度ボランティア・市民活動センター係事業計画
- 資料 8：平成30年度ボランティア・市民活動センター係予算書
- 資料 9：西東京ボランティア・市民活動センターの5つの取り組み（5つの柱） ポンチ絵
- 資料10：参考資料 他市の事業等におけるさまざまな概念図（ポンチ絵）
- 資料別紙：ぼらんていあ倶楽部 第101号
- 資料別紙：災害ボランティア講演会「大災害にそなえる」～あなたが今やるべきこと～ チラシ
- 資料別冊：平成29年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（確定稿）

開会に先立ち、平成29年度末での大高則明委員の退任と、後任として戸田亘氏の就任予定について報告がある。

1. 報 告 事 項

(1). 業務報告(平成30年1月・2月)について（資料1～3）

- ・登録ボランティアの男性の割合が女性の半分という割合ではあるが、他地域と比較すると多いのではないかと。また登録ボランティア全体の人数が確実に増えてきている印象がある。工夫している部分等があれば教えてほしい。
→講座を開くことによって登録される方が多い。昨年度と比較しても大幅に増加している。
講座の開講時に登録用紙の配布とボラセンの紹介をして、しっかり働きかけていることが一番の要因と思われる。
- ・西東京教会ボランティア防災ネットワークという団体を初めて知った。宗教関係のネットワークによる支援は大きいので、ぜひボラセンとしてもつながってほしい。
- ・職員には、何か情報が得られたら外に出て行って情報を得るようにしてほしいし、上役の方もそれを認めて勧めてあげて欲しい。

(2). 傾聴ボランティア養成講習会の実施報告について（当日資料：アンケート結果）

- ・実習を含むような講座となったのは何か理由があるのか。
→5年前に実施した際も実習はあったが、ボラセンからの直接の依頼であった。今年は、傾聴ボランティアグループに協力いただき、活動に行っている施設等に実習を受け入れてもらうよう双方で働きかけをして実習を実施した。
- ・単に連絡会があるだけでなく、そこでの話しを形にする仕組みがあるというところに多者協働の形を感じた。改善していくサイクルで段々良くなっていくことにつながっていると思う。ボラセンとしても受け止めながらやっていく取り組みが、今後も多者協働につながるだろう。
- ・西東京市内でもまだ傾聴ボランティアが不足する部分がある。社協はもうひと手間かけて、行きたい所を聞く作業や、今回、多くの方をお断りしせざるを得なかった方々をどうサポートするかを一緒に考えていってほしい。次の人を育てるといのはとても大切なことである。
- ・色々な形での講座の開き方もあると思うので、多者協働を引き出しながら行ってほしい。
- ・手薄なところ、他にも必要なところがわかるのも連絡会があるからだろう。
- ・ボランティアが勝手に動くのは良くない場合もある。ボラセンがクッションとなる、把握しておいてもらうことも必要だろう。
- ・何かの時にボラセンとつながっていると安心である。そのような関係性を構築できると良い。
- ・アンケートであった疑問・質問等に対して、情報をしっかり伝えることもして行ってほしい。

(3). ボランティア活動者の懇談会の実施報告について（資料4）

- ・困りごとを意見と出してもらって終わってしまった。そこを掘り下げて、どうしたら解決するかまで話し合えると良かった。和気あいあいと話し合っていて良かったと思う。
- ・懇談会のキャッチコピーが良かった。やはりどのようなことをするかという投げかけ方がポイントだろう。
- ・例年ほどのくらいの参加者がいるのだろうか。
→普段は10名行くか行くか行かないかくらいである。
- ・今回、このテーマで行ったのは実際にボランティアの声があったところに、他市でそのような講座を開いているところから、その講師をお呼びして実施した。
- ・やはりアンテナの高さが大きい。
- ・日頃の相談の中から生まれてきているものであることも大きいだろう。

(4). 業務予定(平成30年3月・4月)について（資料5）

- ・認知症サポーターのステップアップ講座へのかかわりは良いと思う。
- ・地域福祉計画の地区懇談会で、つなぎ先にボラセンがなかなか出てこなかった。民生委員が知らない状況もあった。民生委員の定例会の際にボラセンのアピールをしてもらえると良い。

2. 審 議 事 項

(1). 平成29年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録（未定稿）案について（資料6）

- *一部修正を行い、確定稿とすることについて承認される。

3. 協 議 事 項

(1). 平成 30 年度事業計画・予算（案）について

（資料 7～8、当日資料：事業・事務執行計画、事務役割分担表）

- ・目標値が今年度すでに大きく超えているものがいくつかある。目標値をもっと高くしても良いのではないか。
→アクションプランに沿った数字となっている。今後、運営委員会で策定するプランの中で大きくしていく方法もあるだろう。
- ・地域団体との協働が増えているとのことだが、予算が削られてもネットワーク型で努力していることがわかる。計画として進めていく際にはもっとたくさんあることを明記できれば良い。
- ・「連絡調整」と「地域団体との協働」のわけ方をはっきりさせると良い。日本語ボランティア連絡会は「地域団体との協働」に入っても良いのではないだろうか。
→日本語ボランティア連絡会については、行政と協働して行っている。ボラセンは一参加者となっており協働には至っていない。協働に結びつく動きができると良いと考えている。
- ・事務役割分担表や事業・事務執行計画とボラセンの事業計画がわかりやすく対比できるようにすると良い。
- ・日本語ボランティア連絡会は全部で何団体あるのか。
→11 団体 + 1 組織（公民館）がある。
- ・手話講習会はどこが中心になって行っているのか。
→以前は社協が運営していた障害者センターで行っていた。登録手話通訳者の会も関わっており、またその時には連絡会もできていたが、現在の状況は不明である。

(2). 運営委員の事業への参加協力について

- ・運営委員として、できる範囲で構わないので、様々な事業に参加をしたり、企画の段階で関わってほしい。今まで関わってきただけだったことの延長という形で良いと考えている。
- ・参加するだけでなく、受付をするなどの役割を担っても良いだろう。運営委員の腕章をすることで、運営委員会をアピールすることも大切であろう。

(3). アクションプラン（仮称）の策定について（資料 9～10）

- ・関係機関がたくさん出てきているのでこれを整理すると見やすくなるであろう。
- ・できあがれば、これに基づいた計画作りや次年度の計画との関係も見えてくると思われる。
- ・ボラセンのミッションである「つなげる、いかす、うみだす」が反映されると良いと思う。
→この図ができれば位置づけ直していくことになると思われる。言葉としては説明されていないが矢印に表されていると考える。今後の検討事項とさせていただきたい。
- ・幼稚園や老人会などのつながりはあるのだろうか。ただ、あまりにありすぎるとわからない。
→いくつかのグループ分けにされたら、そこに含まれるものとして表記する形にするのも方法であろう。
- ・中心にある 4 つの円錐と基盤になっている円錐が何を柱にしているかはわかりやすく説明されているという理解で良いだろう。
- ・ここからどういうものが生み出され、どのようなところとつながっていくか、また活かされて

いくつかを引き続きの課題としたい。

- ・絵の全体像としては認めていただいたということで良いか。
→全員同意。
- ・この方向で進めさせてもらい、今後、言語化してみんなでイメージを共有し、ボラセンの具体的な活動を考えていきたい。

4. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

■開催日時：平成30年5月8日（火）18時30分～20時30分

■開催場所：田無総合福祉センター4階 第3会議室

※大型連休により資料作成が間に合わないため、当日配布になる予定。

(2). その他

○新たな運営委員の依頼について

*東京ボランティア・市民活動センターに委員選出の依頼をしたい。

→全員同意。

●以上をもって平成29年度第6回運営委員会の審議、協議を終了し、閉会した。